

# 第2回 阪急茨木市駅周辺まちづくり学集会 ニュース

当日の内容を皆様と共有させていただくため、ニュースを毎回発行していきます。

2018年11月6日 発行

2018年10月17日に「第2回阪急茨木市駅周辺まちづくり学集会」をローズWAMにて開催しました。

今回は前回のメンバーに加え、商店会で営業されている方や阪急茨木市駅周辺まちづくりに関心のある方など、総勢22名の方に参加いただき、【阪急茨木市駅周辺をどんなまちにしたいか】をテーマにワークショップを行いました。

また、前回に引き続き、アドバイザーとして近畿大学総合社会学部の久教授にもご参加いただきました。

参加者の皆さんによる活発な意見交換が行われ、楽しく有意義な学集会となりました。

## ○ 久教授からの講演

久教授より、まちの活性化に取り組んでいる他市の事例を紹介していただき、成功の秘訣やワークショップで意見交換いただきたいこと等についてご講演いただきました。

【講演の概要】

- ・ 大阪市阿倍野区昭和町の事例紹介。エリアリノベーション（一軒一軒のリノベーションなど小さな取組みが集まることで、まち全体が変わっていく動き）とバイローカル（地域で買い物をしようという運動）を実践している。バイローカルで鍵を握っているのは、消費者の消費行動。
- ・ まちづくりは、暮らしをより良くするための活動の総体。様々な観点でいろいろな方が活動されているが、一つにまとめるとすごい力となる。一つの掛け声で力を合わせることも大切。
- ・ ○○が欲しいという結論ではなく、どんな暮らしがしたいか（現在・未来）、実現したい暮らしの姿をイメージし、実現するために必要なモノ・コトを考えることが大切。

## ○ ワークショップ

【阪急茨木市駅周辺をどんなまちにしたいか】をテーマに、「まちの特徴」「まちの課題」「実現したいまち」などについて4グループに分かれ、活発に意見交換しました。

最後は各グループの代表者に発表いただき、参加者の意見を全員で共有しました。



## まちの特徴

- 交通など利便性が高く、暮らしやすい・住みやすいまち
- まちに若い人（世代）が増えてきた。ママさんが喜ぶ店がある
- リノベーションしたカフェなど、魅力的な店・個性的な店が増えてきた
- 中心部に駅や市役所、商店街等がまとまっており、利用しやすい
- 地震をきっかけとして、防災の取組がすすんでいる
- 地元意識が強い方が多く、三世代・四世代と仲が良い
- 商店街が多い、イベントが多い、茨木神社など歴史がある、自然が近い

ポテンシャル

新たな魅力

便利

地域資源

## まちの課題

- バスターミナルが混む、バス乗り場まで行きにくい・わかりにくい
- 道路の渋滞、駐輪場が少ない、自転車マナーが悪い、歩道を安全に歩けない
- 若い人や地域の人が集まる場所、ゆっくりできる場所、子供が遊ぶ場所がない
- 駅から商店街までが分かりにくい
- 商店街は元気がない、シャッター街、みんなで何かをやる元気がほしい
- 駅前のソシオが老朽化し、まちがさみしい、賑わいがない
- 土地が高い、家賃が高い

駅前広場  
交通

広場

賑わい

## 実現したいまち

- 休憩できる、憩える、多世代が交流できる、イベントができるなど、多目的に活用できる場所が欲しい
- 渋滞解消、自転車・歩行者の安全
- 駅～商店街、JR 茨木駅～阪急茨木市駅のつながりがあり、歩きたくなるまち
- 駅前や商店街など中心地に人が集まり、賑わっているまち（平日も）
- 安全・安心で多世代が楽しく、笑顔があふれるまち、住みやすいまち
- 若い人が来てお店を利用してほしい、インバウンドの取り込み
- 茨木神社や川端康成など地域資源を活かす
- 地域交流、住民のネットワークがある、自分発信の人がたくさん生まれるまち
- 北摂地域で競い合い、メディアを介して、まちの工夫をアピール合戦してはどうか

交通機能

回遊性

広場・交流

賑わい

※すべてのご意見はご紹介できませんが、上記以外にも様々な意見が出ました。

## ○ まとめ（アドバイザー久教授より）

今回は、皆さんが思い描くまちをどう実現していくか、その方法を一緒に考えていきたい。若い世代というキーワードが出たが、学生なのか、20～30代なのか、ターゲットを意識しながら、どういう暮らしをしたい・してほしいのかを考えることも大切。



次回の学集会は12月13日(木)19:00～ @ローズワム5階

次回もワークショップ形式で阪急茨木市駅周辺の将来像を考えていきます。

学集会に参加される方は事前にご連絡ください。

連絡先:茨木市 市街地新生課 担当:三浦、参河(みかわ)

TEL :072-620-1821 FAX :072-620-1730 mail:shigaichi@city.ibaraki.lg.jp